

福島ロータリークラブ会報

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

RI 2015-16 のテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-16 RI 会長
K.R. ラビンドラン

本日の
プログラム

ゲストスピーチ 「基本的教育と識字率向上月間」にちなんで

学校法人 東稜学園 福島東稜高等学校 理事長・校長 小原 敏 様

会長あいさつ

第9回会長挨拶

幡 研一 会長



9月は「基本的教育と識字率向上月間」です。この後、小原 敏様にスピーチをお願いしてありますが、前座として多少子どもの教育に関することをお話させていただきます。

地区においては、来る9月19日(土)、社会奉仕委員会のセミナーが開かれ、その中で、「子供たちに遺すもの…我々大人(ロータリアン)は地域の子どもたちに何をプレゼントすべきか」とのテーマで各分区のガバナー補佐からそれぞれの分区内クラブでの「未来を担う子ども達のために行う事例」についての発表があると聞いております。そこで、「我々は子ども達のために何をなすべきか」について考えてみました。

「児童は人として尊ばれる」という言葉を見聞きした人は皆様の中でも半数程度おられることと思います。私は子どもの頃、この言葉を街中の電柱や、家の壁面に張ってあったのを覚えています。「児童は人として尊ばれる」「児童は、社会の一員として重んじられる」「児童は、良い環境の中で育てられる」この3つを基本綱領として、12条の本文からなるのが児童憲章で、昔は母子手帳の表紙の裏面に印刷されていました。児童福祉に対する国民の意識を啓発するために、1951年(昭和26年)5月5日子どもの日に制定されました。

児童憲章全文

1. すべての児童は、心身ともに、健やかに生まれ、育てられ、その生活を保障される。
2. すべての児童は、家庭で、正しい愛情と知識と技術をもって育てられ、家庭に恵まれない児童には、これに代わる環境が与えられる。
3. すべての児童は、適当な栄養と住居と被服が与えられ、また、疾病と災害から守られる。
4. すべての児童は、個性と能力に応じて教育され、社会の一員としての責任を自主的に果たすように、

例会次第

- 開会点鐘 幡 研一 会長
- ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 菅野 晋 会員
- 四つのテスト唱和 土屋敦雄 会員
- お客様並びに来訪ロータリアン紹介
- 9月誕生祝い
- 会長あいさつ 幡 研一 会長
- 食事
- 幹事報告 箱岩 偉 幹事
- 各委員会報告
 - プログラム・ニコニコBOX小委員会
ニコニコBOX担当 門脇 渉 委員
- ◎本日のプログラム
- 閉会点鐘 幡 研一 会長



幹事報告

お知らせ

- 福島北RC、8日(火)の例会は職場訪問例会で、国会議事堂&防衛省の見学で上京の例会です。

例会プログラムのご案内

- 9月17日(木) 12:30 ~ 辰巳屋
○新会員スピーチ 野村証券(株)福島支店長 野原 邦亮 会員
- 9月24日(木) 理事会承認休会

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

- ゲストスピーカー 小原 敏 様
紹介…日比野恒夫 青少年奉仕委員長

みちびかれる。

5. すべての児童は、自然を愛し、科学と芸術を尊ぶように、みちびかれ、また、道徳的心情がつつかわれる。
6. すべての児童は、就学のみちを確保され、また、十分に整った教育の施設を用意される。
7. すべての児童は、職業指導を受ける機会が与えられる。
8. すべての児童は、その労働において、心身の発育が阻害されず、教育を受ける機会が失われず、また、児童としての生活がさまたげられないように十分に保護される。

(次のページへ)

9. すべての児童は、よい遊び場と文化財を用意され、わるい環境からまもられる。
10. すべての児童は、虐待、酷使、放任その他不当な取扱からまもられる。あやまちをおかした児童は、適切に保護指導される。
12. すべての児童は、身体が不自由な場合、または精神の機能が不十分な場合に、適切な治療と教育と保護が与えられる。
13. すべての児童は、愛と誠によって結ばれ、よい国民として人類と平和と文化に貢献するように、みちびかれる。

児童福祉法・児童憲章・児童権利宣言

第二次大戦後、こどもたちの自由と開放を目ざして、以下の3つが制定されました。新憲法が制定された1948年の翌年、この憲法の精神を踏まえて制定されたのが「**児童福祉法**」。さらに、児童福祉に対する国民の意識を啓発するために、1951年5月「**児童憲章**」。また、国際連合において、1948年の世界人権宣言を踏まえ、1959年に制定されたのが「**児童権利宣言**」であります。

終戦後まだ間もなく食料を始め生活物資にも不自由な中、日本は国を挙げて将来を担う子どものための施策を始めました。

以前にも例会で話したのですが、「天明の大飢饉」で会津藩は、藩の財政も厳しく、食糧難の中、藩の再興は人づくりにありとの考えの下、会津藩校日新館ができました。日新館に入る前の6歳から9歳までの藩士の子どもたちを対象に同じ町に住む10人程度の集まりが「什」で、そこでは「什の掟」が作られ毎日それを復唱していました。

※天明の大飢饉：江戸時代中期の1782年(天明2年)から1788年(天明8年)にかけて発生した飢饉。江戸四大飢饉の一つで、日本の近世では最大の飢饉で、東北地方を中心に壊滅的な被害をもたらした。全国的には92万人余りの人口減少(当時の日本の人口は2500万人余り)が見られた。

このように日本では昔から子供の養育には大変力を入れていました。現代では物資も豊富で、食糧に困ることなど殆ど考えられません。しかし本当に心身ともに裕福でしょうか、そうとは思えません。学校でのいじめ、自殺、殺害などがマスコミを賑わしています。また幼児の虐待死も後を絶ちません。何がその様な社会にさせたのか、今、子どもたちが真に必要としていることは何なのかを考えなければいけないと思います。社会背景の大きく変わった今、真剣に取り組むべき問題と考えます。

「Be a gift to the world, sow the seeds of love」の精神です。

本日のプログラム

～ゲストスピーチ～

基本的教育と識字率向上月間にちなんで

学校法人 東稜学園 福島東稜高等学校 理事長・校長
おばら さとし
小原 敏 様



ふくしま復興へ

～留学生の受け入れ～

世界との共存・平和への追求

本校の建学の精神は「真心教育」であり、教育方針の一つに「国際教育の推進」を掲げている。教育活動の根幹は建学の精神の具現化であり、グローバル社会の進展の中、大きな視点で物事を捉え、社会に役立つ人間を育てあげることが私の教育目標である。

本校では6年前の平成21年4月に中国から2名の留学生を受け入れ、今年度もセネガル共和国から1名の留学生を入学させた。本校への招請理由は、世界的な視野をもち、平和と人類共存を希求する精神を生徒へ教育し、真心教育の実践を目指すことである。

中国の留学生は中国、河北省任丘市出身の李世遠(リ・シユアン)と河南省新郷市出身の于凱(ユウ・カイ)である。中国は経済格差が激しく、地方の生活水準は都市部と比べて厳しいものがある。高度経済成長を続ける中、日本での生活へ憧れを抱く若者が多いが、経済的理由から留学ができない学生が多いという。知人からの紹介があり、両名ともに本校での強化指定部である男子バスケットボール部で文武両道を目指したいという希望を聴き、入学を許可した。入学後は本校の多くの職員が物心両面から経済的にサポートし、生徒は精神的な面から支え、学校がより一つにまとまった。両名ともに身長2メートル近くある長身であり、技術面は未熟であったが、強い信念のもと急成長を遂げていった。李は2年次に福島県少年男子選抜選手となり、岩手県で行われたミニ国体では大活躍を見せた。今年度インターハイ優勝を果たした強豪の明成高校を中心とする宮城県代表と決勝の舞台で戦い、大接戦の末、惜しくも準優勝と福島県へ大きく貢献してくれた。

順調に学校生活を送り、3学年進級を目前にした2011年3月11日、東日本大震災に見舞われた。福島原子力発電所が津波に襲われ、放射能被害が世界中に報道された。震災後数日もたたないうちに中国大使館から連絡があり、強制帰国が決まった。福島駅前には中国人専用の大型バスが連なっており、二人も私たちが

心配しながら新潟空港行きへのバスに乗り込んだ。涙ながらに再会を誓ったが、私は永遠の別れになるのかとの覚悟を決めていた。

空港近くの待機所となった体育館には多くの中国人たちが我さきに飛行機へ乗り込もうとパニックになっていたようだ。2人は焦りと恐怖から精神的にパニックに陥っていた人々を落ち着かせ、幼い子供たちやお年寄りの方々に対し、積極的に面倒を見て、最後に飛行機に乗り込んだようだ。数日後に中国大使館から電話連絡で知らされた時、涙が溢れ止まらなかった。

不安を抱えながら新年度がスタートし、1カ月が過ぎた頃、李からの連絡があった。「学校と仲間へ恩返しをしたい。福島へ戻ります。」私は言葉が出なかった。感動の再会であった。もう1人の子も1年後に帰って来た。本校を卒業し、日本の大学へ進学したいと中国の両親を説得しての来日であった。

現在は両名とも関東の有名大学へ進学した。日本語能力試験で最高のN1級を取得するまで成長してくれた。学費や生活費を稼ぐため、観光案内のアルバイトをしている。日本と中国の友好を深めたいと日本人の温かさや福島の素晴らしさを伝えてくれている。大きな感動と勇気、生きる力をもらった2人の留学生に大きな敬意を表したい。

もう1人の留学生、シセ・セリン・ウスマン。セネガル共和国からの留学生である。セネガル共和国は約50年前まで、フランスの植民地下にあり、フランス語や英語など4か国を話す。アフリカは相次ぐ内戦や伝染病の流行など、日々の生活に不安を抱える家族が多い。世界的に安全な国として知られる日本での生活を希望する学生が多い地域にある。

東日本大震災の復興に関しては、福島は世界中から多くの支援を頂いている。大震災から4年が経って、何か恩返しができないかと今春に入学を許可した。気候や文化、宗教もまるで違う日本での生活には多くの

不安があっただろうが、中国からの留学生同様に教職員や生徒の親身なサポートにより、順調に成長している。英語が話せるということで、生徒も積極的にコミュニケーションをはかることができている。身長は209センチもある。しかし、母国では貧しい生活環境から体重も少なく、来日した頃は65キロしかなかった。現在は体重も78キロまで増え、たくましく思えるようになった。バスケットボール部に所属し、技術や体力の向上に励んでいる。また、日本語学習に関しても意欲的で、ヒヤリングは急成長している。

本校男子バスケットボール部は中国からの留学生などの活躍が土台となり、現在は部員も約50名となった。昨年度は念願のインターハイ初出場、冬の全国大会であるウインターカップ初出場、福島県高等学校新人体育大会初優勝と福島県内3冠を達成。今年度も福島県では13年ぶりとなる、インターハイ2年連続出場を果たした。

2年後の平成29年には、南東北インターハイが開催される。バスケットボール競技は幸運にも地元福島市のあづま総合体育館がメイン会場となっている。福島復興の原動力になる子供たちが、逆境の中でも懸命に努力し、輝いている姿を全国に発信する絶好の機会である。本校としても日本一を目指し、着々とその体制を固めつつある。

最後に、福島からの恩返しという趣旨で、留学生を受け入れたことに賛同をいただき、一般社団法人「FT BONDS」が設立され、多くの皆様からご支援を賜っていることに深く感謝の意を表したい。ここに、福島復興へ向け、ふくしまの子どもたちを教育する立場から、現場の一端を皆様にご紹介できたことに御礼申上げたい。また、新たに留学生を受け入れながら、ふくしまの子どもたちの教育と世界への恩返しを続ける所存である。今後とも更なるご支援を賜りたい。

活動報告

新会員オリエンテーション 開催報告

日時：2015年9月3日(木) 17:30～ 会場：辰巳屋
●新会員セミナー(17:30～)
●新会員歓迎会 合同懇親会(19:00～)

講師 阿久津 肇RI第2530地区パストガバナー
参加者

- 新会員 井上 賢司 会員 佐藤康太郎 会員
- 霧丸 直久 会員 反後 太郎 会員
- 中尾根康宏 会員 高橋 雅行 会員
- 加藤 裕司 会員 本保 晃 会員
- 安斎 圭一 会員 茂木 正志 会員

- 会長・幹事 幡 研一 会長 箱岩 偉 幹事
- クラブ研修リーダー 渡辺 健寿 会員
- 委員会 菅野 晴隆 R情報・クラブ会報・資料小委員長
- 菅野 裕一 副小委員長 増子 勉 委員
- 田沼紀美子 委員 渡邊 又夫 委員
- 相良 元章 委員

★次ページにて当日の写真を掲載しております★



9月誕生祝い

菅野 晋 会員	昭和37年 9月 10日
白岩 康夫 会員	昭和 4年 9月 13日
勢島 昇 会員	昭和22年 9月 22日
森岡 幸江 会員	昭和35年 9月 25日
坪井 大雄 会員	昭和34年 9月 26日
野原 邦亮 会員	昭和50年 9月 26日
牧野 吉晃 会員	昭和36年 9月 27日
岩城 晃 会員	昭和32年 9月 28日

おめでとうございます



私のひとこと

鈴木 勇人 会員



縄文文化を伝える 福島の新名所が誕生！

去る8月8日に福島市岡島にある国指定・宮畑遺跡史跡公園「じょーもびあ宮畑」が全面開園しました。

宮畑遺跡は縄文時代の人々が約2,000年間にわたって生活した、南東北を代表する縄文遺跡であり、平成8年に国指定史跡に指定されました。

発掘調査では、縄文晩期(約3,000～2,500年前)の掘立柱建物跡や幼児の墓(埋甕)、縄文後期(約4,000～3,000年前)の村やもの送り場、縄文中期(約4,500～4,000年前)の焼失竪穴住居が見つかり、縄文時代3期にわたる縄文人の暮らしを伝える貴重な遺跡です。

平成16年から公園全体の設計や体験学習施設の設計監理に携わり、11年の歳月を経て完成しました。

福島市の新たな名所の誕生は、花見山から宮畑遺跡を巡り、飯坂温泉や土湯温泉等への滞在型観光コースとしても期待ができます。是非ともご家族で縄文体験をしてみたいかがでしょうか。

ニコニコBOX報告 (報告)門脇 渉 委員

本日のニコニコBOX投入額 31件 ¥64,000 累計 ¥612,000

加藤 義朋 会員

県北第一分区ガバナー公式訪問に鈴木和夫ガバナー補佐とほぼ全クラブに同行しました。8月29日、旭川RCにメークアップしました。感動してきました。

幡 研一 会長

小原 敏様のスピーチを楽しみにしております。

箱岩 偉 幹事

皆様の例会ご出席に感謝して。9月生まれの皆様、誕生日おめでとうございます。健やかな一年でありますように。

安藤 鍊雄 会員

東稜高校小原理事長のスピーチを歓迎して。

佐藤 武彦 会員

小原先生のスピーチに感謝申し上げます。

林 隆壽 会員

季節の変わり目、くれぐれもご体調管理を!!

白岩 康夫 会員、牧野 吉晃 会員、坪井 大雄 会員、森岡 幸江 会員

誕生祝いをありがとうございます。

他に／有田吉弘会員／今井 康会員／氏川守義会員／内池 浩会員／浦部 博会員／門脇 渉会員／加納武志会員／児玉 健夫会員／菅野晴隆会員／小林仁一会員／久保田吉朗会員／古俣 猛会員／相良元章会員／佐藤英典会員／菅沼 裕会員／田沼紀美子会員／土屋敦雄会員／増子 勉会員／松浦 敬裕会員／森 洋一会員／八子英器会員